

(8) 総合的な学習研究会

会 長 稲田 充宏 (下田中)
副会長 濱口 洋人 (中村小)
事務局 谷崎 美佳 (中村中)

1. 研究主題 「探究的な学びを実現する総合的な学習の時間の進め方」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和4年 5月6日(金)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	22名参加
令和4年 8月5日(金)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容： ①総合的な学習の時間についての理解 西部教育事務所 小谷野指導主事 ②実践発表 報告者 濱口 洋人教頭(中村小) ③講話(リモート) 報告者 内田 裕斗教諭(岡崎市立羽根小)	中村中学校	21名参加

3. 夏季研修の具体的な内容

①総合的な学習の時間についての理解(西部教育事務所 小谷野 竜介指導主事)

はじめに、西部教育事務所小谷野指導主事より、「幡多管内における『総合的な学習の時間』の課題」、「『総合的な学習の時間』に見られる小中連携の課題」の2点について講話をいただいた。

小中9年間を見通して系統的に学びを整理することの重要性や探求課題を設定する際にポイントとなること、探究的な学習の過程で留意すべきことなどを教えていただき、自校の取り組みや単元計画を見直すきっかけになった。



②実践発表Ⅰ「咸陽小学校の取組」(中村小学校 濱口 洋人教頭)

続いて、中村小学校濱口教頭から、咸陽小学校での取り組みについて発表していただいた。

咸陽小学校では、児童にとって身近な「海」を題材に、各学年の学習に応じた探求課題を設定し、取り組みを行っている。身近な題材を他教科とも関連させ、横断的に学んでいくことや、児童・生徒が本気になるための下準備をどのように行うかなど、学びの多い発表であった。

発表後、『総合的な学習の時間』における各校の取り組み及び小中連携の取り組みについて感じる難しさや課題の解決策」というテーマで話し合ったが、咸陽小学校の取り組みからそれぞれが学んだことが意見交換の視点の一つとして生かされていた。



③教材視聴「NHK どするこする」・講話「小学校・中学校での「総合的な学習の時間」の取組を通して学んだこと」（元岡崎市立新香山中学校・現岡崎市立羽根小学校 内田 裕斗教諭）

最後は、愛知県で教員をされている内田裕斗教諭を講師にリモートでの実践発表をいただき、県外の先進的な取り組みを学ぶ貴重な機会にすることができた。

内田教諭が岡崎市立新香山中学校に在籍されていたときに取り組まれた中学1年生の学習「生物多様性に学び自然環境との共生を目指す新香山プロジェクト」をもとに、地域の背景を基にした課題設定、他教科の学習との関連付け、探究のプロセスを回すための工夫などを丁寧に教えてくださった。

探究のサイクルの過程で生徒が地域の人・もの・ことと関わりながら思考を深め、悩む中でどんどん本気になっていく姿を知ることができた。また、そこを目指すためには前年度から年間計画を練っておくことや生徒がどの方向に関心を示しても対応できる準備をしておくことが必要だと分かった。

内田教諭の発表をうけての参加者の感想

- 子どもたちが本気になって取り組めるよう、たくさんの仕掛けをしていることが勉強になった。
- 単元を作っていくうえで、子どもたちの既有的知識を理解しておくこと、その教材に課題があるか、社会とのつながりがあるかなどを考えながら行っていくことが大切と分かった。
- 総合的な学習の時間は、探究的な子どもの想いを引き出すことによって成り立っていくということを学んだ。総合的な学習の時間が充実していれば、子ども達は互いに相手の意見を聞き合い、自分事として考え始めるようになっていくと感じることができた。
- 総合的な学習の時間を進めていく中で、アンケートやポスターを作成する場面は何度かあったが、その時に、もっと相手意識を持たせた説得力のあるものを目指すべきだったと反省した。子ども達自身に意思決定・判断をさせることによって子ども達に学びの価値を位置づける授業を目指したい。
- 子どもたちの資質能力を伸ばすためには綿密な計画が不可欠であることを学んだ。

4. 今年度の成果と課題

成果 夏季研修の感想より

- ・学習指導要領の基本、3～6年生までの総合のつなげ方の分かる実践報告、他県の実践報告と、とても濃い内容だった。
- ・校区の土地の特徴についての話も勉強になった。
- ・体験的な講話を受けることで、自分事として聞くことができた。子ども達が自分事となり、授業を進めていく様子が目に浮かんだ。
- ・実践報告の時間など適度な時間配分で区切られていた。
- ・「総合的な学習の時間について」の講話では、体験することを目的とせず、課題解決を目的とした情報収集をすること、子どもたちが課題を見つけ調べることを繰り返し「主体的な学習」に結び付けること、「総合学習の目的」等を分かりやすく話して頂き、基本的なことを学ぶことができた。
- ・先進校の実践発表者とリモートでやりとりするのは、とても斬新で効果的な研修形態であると感じた。

課題

- ・小中で取り組みを共有できたが、各校の取り組みを小中でどうつなげていくかには課題が残る。
- ・前年度も課題に挙がっていたが、課題設定や単元計画の見直しなどは総合担当の教員だけが考えていることも多いので、教科横断的に各教科と関連させたり、異学年と検討し合ったりして、学校や学年全体で考えていくよう呼びかけることも必要である。